



広島は71回目の原爆の日を迎えた。

今年は5月27日にオバマ大統領がこの地を訪れたこともあり、例年以上に関心と呼んだ。100年経つと体験者はほとんど皆無になる。現在世界中に核兵器は17000発あるという。

オバマ大統領が広島で「核なき世界」を目指すと宣言した。今後体験者がいなくなって、人類は核兵器を二度と使わずに歴史を刻むことができるのであろうか？

どこかの狂気じみた指導者が、テロリストが使うことは考えられる。その時には広島の何十倍、何百倍という被害をもたらすだろう。核兵器を持った国同士が報復合戦で打

ち合えば、人類は本当に滅亡するかもしれない。

平和の祭典のオリンピックが開かれて、世界の若者、障害者が手をつなぎ合っているが、一方では地球の別のところで紛争がおきて、人同士が殺し合って、憎しみ合っている。核兵器のむごたらしさを体験した人がいなくなって、この悪魔の兵器がいつまた使われるかわからない。

そのためにも、広島長崎の惨劇を後世に語り継ぎ、保存しておかねばならない。世界の指導者に広島・長崎をぜひ訪れてもらいたいものだ。

賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ。(ドイツ宰相ビスマルク)

社長の仕事 税理士 大場史郎

金利の見直し

現在 日銀が0金利政策を行っている関係もあり、史上まれに見る低金利です。

経営者や賃貸不動産をお持ちの方、更には住宅ローンを払っておられる方、ぜひ会社や個人の金利を確認してみてください。

金利は環境にもよりますが、ご自身の体力により大きく左右されます。言い方を変えれば、儲かっている会社は低く、赤字の会社にはどうしても高い金利を払わなくてはなりません。

良く言われている言葉に、「銀行は晴れているときに傘を貸そうとするが、雨に日には傘を貸してくれない。」というたとえがあります。

でも、ある意味これはやむを得ません。銀行も民間企業ですし、そこで働く支店長や担当者もサラリーマンです。リスクがあれば貸し倒れも考えて 金利は高く設定せざるを得ません。

もし貸し倒れになれば、彼らの今後の出世にもかかわります。

言い方を変えれば「税金を多く払う会社ほど、安くお金を借りれます。」

銀行に愚痴を言うのではなく、むしろ、経営者として前向きに「自社の評価がこの程度か、よし見直してやる。」というような気概を持ってください。

規模を大きくしようとする前向きな経営者は利益を少なくすることより、多く出すことを目指し、我々にも要求してきます。目的は銀行からより低利の資金を引っ張ろうとするからです。

現在関与先で最も低利で借りている先は特殊な例を除いて、設備資金で0.45%です。1億円借りて年間45万円、月に3.75万円です。

金利を下げるもう一つのコツは銀行同士を競わせることです。相見積もりを取ることです。

気を付けなければいけないのは、中途解約に違約金が付く場合です。5年、10年などの固定金利の場合はケースによればよくあります。この場合は金利改定時期の5年、10年経過するまで待たなければいけません。本店の稟議が通れば、金利だけを下げてもらえる場合もあります。そこも皆様と銀行との関係によります。

個別の内容に付きましては、私又は担当者へご相談ください。